

あれこれ通信

Tel / Fax 0493-62-7997  
http://space.tom-shibuya.com  
e-mail 713@tom-shibuya.com

## 渋谷とみ子の議会報告No.74

## 町は子ども・若者・女性と対話して

## おじさん主導でないまちづくり・税金の使い方を

**嵐**山町の成人式は3年前から、中学生・高校生・新成人、成人後の20代の若い人が実行委員会で企画しています。町主催の成人式とは違います。新成人と司会者のやり取りが楽しい。中学生のアイデアを活用し、新成人の中学時代や町の人のお祝いメッセージを、実行委員が編集したビデオを流します。成人を祝い、楽しんでもらいたい思いが伝わってきます。中学生の意見をとりいれて実行委員会で企画していく若者たちの姿が町のこれからをつくると信じています。



**7**年後の2020年には、子どもの数は500人減り1573人、高齢者は1000人増え5892人、15才から64才の働く人は、1300人減り1万354人、総人口は700人減り1万7719人と予測されています(次ページグラフ参照)。子どもが少なくなり、高齢者が多くなると、ますます熟年男性主導の嵐山町になりそうです。人を育てるまちづくりのため、子ども・若者の意見を聴く場をつくりませんか。

**小**学校5年生と議会総務経済委員会で話し合いました。外で遊ぶ場所がないという意見が、七郷・菅谷・志賀小と全学校から出ました。道に、犬の糞やごみが多いとっていました。小学生が、学校行事でごみ拾いをしています。子どもはいやだと感じていたのです。議会は子どもが何を感しているか知ろうとしました。

**菅**谷小のそばのテニスコートは、嵐山町が国立女性教育会館のテニスコートと運動広場を管理することになり、地主さんに返しました。外遊びの場所がほしいという声をもっと前に聞いていたら、広場として借りることも提案できました。

**子**ども・10代、20代の人は何を感じ、考えているか聴く場をつくり、それをまちづくりに生かすことが変革につながります。町は、町民との対話でまちづくりを進めるのが苦手です。決定したこと以外は受け入れない姿勢を議会答弁で感じます。これでは、発言する住民はいなくなります。

**町**立幼稚園を3年保育にという運動が25年前ありました。子育て中のお母さんの運動でした。やっと1年保育から2年保育になりました。が、民間との共存を前提に、3年保育を実現しようとはしません。町に働きかけてどうにもならないというあきらめができました。よくない！主権者は町民。地域経営を盾にこども環境の整備にうとい。子育ての必要性を無視する地域経営では出生率はさがります。地域と時代のニーズに耳を傾けましょう！

「嵐山町をデザイン！」 未来の嵐山町を話しあっていきませんか。

第2回 4月20日(土)午後1時30分～4時まで

場所 ふれあい交流センター会議室202

皆さんで自由に話して、そして、5年後、10年後のあるべき嵐山町を考えていきましょう。